

◆ あとがき ◆

今回、透析患者に合併する循環器疾患について特集を組みました。腎機能が低下すると、高リン環境をはじめとする尿毒症環境が血管平滑筋細胞の石灰化を直接誘導し、表現型変化を引き起こすことが報告されています。また、内皮細胞由来の細胞が石灰化過程や骨形成系細胞への移行に関与する可能性も示されています。このように、尿毒症環境は血管石灰化と密接に関連しており、その結果として、透析患者では脳心血管系に特有の血管合併症が生じると考えられます。したがって、透析患者の循環器疾患は、腎機能が正常な患者とは異なる病態的特徴を有しており、高血圧、心不全、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症などの管理においても、透析患者特有の視点に基づいた対応が求められます。

本特集では、これらの病態に対する基本的な考え方と日常診療における実践的なアプローチをまとめました。さらに、外科治療に際しての注意点、脳血管障害患者の管理や認知機能の問題、下肢末梢動脈疾患、非閉塞性腸管虚血など、透析患者で特に注意すべき病態についても取り上げています。透析患者における循環器疾患の管理は総じて難しく、発症予防と進展抑制が極めて重要です。本特集では、ARNIやHIF-PHIなどの新しい薬物治療、Ca・P管理ガイドライン、透析管理のポイント、運動療法、さらには腎移植への期待など、予防および治療に関する最新の話題についてもご紹介しています。

本特集が、透析患者の循環器疾患に対する理解を深め、日々の診療の一助となり、患者さんのQOLおよび予後の改善に資することを期待しております。

平和 伸仁

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5

NK本郷ビル5階 ☎03-3814-8541

メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9

アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853 (代)

文京 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6

メディカル 本郷大原ビル6階 ☎03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第101巻第1号(7月号)

特集 ネフローゼ症候群—最新の知見と動向

序文……………服部元史
疫学

成人ネフローゼ症候群の疫学(JNSCS)……………猪阪善隆

小児ネフローゼ症候群の疫学(JP-SHINE study)

……………菊永佳織・他

病因・病態

<一次性ネフローゼ症候群>

抗ネフリン抗体研究の動向……………堀之内智子

抗ネフリン抗体以外の抗体研究の動向……………白井陽子

抗体によるポドサイト障害機序……………河内 裕

小児ステロイド感受性ネフローゼ症候群における

疾患感受性遺伝子研究の動向……………飯島一誠

膜性腎症病因抗原研究の動向……………和田健彦

膜性腎症バイオマーカー研究の動向……………秋山真一

MPGN/C3腎症研究の動向……………中川直樹

免疫異常(とくにB細胞系)研究の動向……………三浦健一郎

<二次性ネフローゼ症候群>

遺伝子解析の動向……………張田 豊

二次性ネフローゼ症候群の病因:最新の知見と展望

……………嶋本 聖・他

診断と治療

<成人>

微小変化型ネフローゼ症候群の診断と治療……………尾関貴哉・他

巣状分節性糸球体硬化症の診断と治療……………高上紀之・他

膜性腎症の診断と治療……………河合悠里子・他

MPGN/C3腎症の診断と治療……………松井 功

<小児>

小児特発性ネフローゼ症候群の診断と治療……………濱田 陸

<血液浄化療法>

LDL吸着療法の動向……………鶴屋和彦

<治療薬>

B細胞系治療の動向……………清水昭博・他

糸球体腎炎に対する抗補体薬の開発……………伊藤秀一

名誉主幹/秋澤忠男 飯野靖彦

編集顧問/五十嵐隆 遠藤 仁 小椋陽介 川村哲也

木村健二郎 小山哲夫 酒井聡一 坂井建雄

佐中 孜 塩之入洋 高市憲明 細谷龍男

矢崎恒忠 山口 裕 山田 明 竜崎崇和

編集主幹/有村義宏 小林修三 新田孝作

編集委員/青柳一正 安西尚彦 安藤亮一 伊藤秀一

河原克雅 菅野義彦 清水 章 高橋公太

高橋 悟 坪井伸夫 長田道夫 服部元史

平和伸仁 星野純一 本田浩一 横尾 隆

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第100巻第6号

2026年6月25日発行

定価3,190円(本体2,900円+税10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年 年 間 予 約 購 読 料

①2026年1月号~2026年12月号+増刊号:

定価52,800円(本体48,000円+税10%)

②2026年4月号~2027年3月号+増刊号:

定価52,800円(本体48,000円+税10%)

※前金予約購入に限り送料無料。